

第4回 福岡市立学校給食運営検討委員会 議事録

1 開催概況

- (1) 日 時：平成21年12月10日（木） 14:00～16:30
- (2) 場 所：福岡市教育センター 303研修室
- (3) 出席委員：秀平キヨミ委員長，永野繁一副委員長
松田瑞恵委員，新飼恵子委員，函師不二子委員，古河満子委員
杉山大樹委員，増川郁子委員
井上真理子委員，川原圭子委員，山野みよ子委員，高山泰徳委員
長谷川弘明委員(代理出席)，大西浩明委員(代理出席)
〆野忠雄委員，西村孝志委員（以上16名）
- (4) 事務局：5名

2 議事録（要旨）

- (1) 議題1：平成22年度の学校給食費について
 - ア 配布資料に基づいて，要約して事務局から説明があった。
 - イ 前回の議論について主な内容の紹介があった。また，その後，事務局より「教育委員会内部にて再検討したが，現在の経済状況等を考えるとやはり給食費の値上げは厳しく，平成22年度当初は据え置きとしたい」旨の説明があった。
 - ウ 事務局の説明に対し，次のような意見が表明された。
 - ・ 現状では学校給食の目標や学校給食摂取基準の対応が難しいことを考えて欲しい。また，鉄分や食物繊維は大事な栄養素なので，きちんとした対応が必要。
 - ・ 栄養摂取は大事な問題。足りてない栄養素については摂取出来る様努力をして欲しい。給食費の値上げも一つの方法ではないか。家庭によっては栄養摂取を給食に頼っているところもある。
 - ・ 例えば，中学校であれば『弁当の日』を設置し，回数を見直すことにより，現在の額を維持しながらおらずに充てる額を確保することを考えたり出来ないものか。
 - ・ カロリーベースよりもビタミン・ミネラルベースの方が大事なのでは。カロリーは家庭でもすぐに摂取出来るが，ビタミン・ミネラルはなかなか摂取しにくい栄養素である。これらの栄養素が摂取基準量に達してない現状で，後は家庭で摂取して欲しいでは理解出来ない。もう少し納得が出来る形で不安が払拭出来るよ

うに説明して欲しい。必要な栄養が摂れればいいが、摂れないことが明らかな場合は給食費を値上げすることを考えるべきでは。

- ・ まずは喫食時間の確保等で子ども達がゆっくりと給食を食べる時間を取ってやる必要がある。いくら食材中の栄養素量を増やしても、子ども達がそれを食べなければ意味がない。

エ これらの意見を踏まえて、事務局から「まずは現状の給食費の中で鉄分やビタミン・ミネラル等の栄養摂取量を確保できるよう検討したい」と説明があった。

(2) 議題2：納入組合からの小学校給食物資調達について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、次のような意見が表明された。

- ・ 納入組合からの物資調達に関しては難しい問題であり、過去の経緯もあるので、PTAに意見を求めるのではなく、教育委員会内で対応して欲しいと思う。
- ・ 学校給食においては入札では対応出来ないことがたくさんあるのでは。例えば、学校給食に求められている基準を満たしたものを大量に調達出来る業者は限られてくると思う。
- ・ 現場としては一般の物資のうち例えばこんにゃく、豆腐、うどん等のように個包装された状態で納品されたら対応出来ないし、規格がバラバラだと作業効率が落ちる。また、ビニール等が異物混入の一因となりやすい。

外形だけでは分からない欠格品、例えば、包丁で切ってみたら内部が痛んでいた等が納入された場合は、速やかな対応が不可欠。大量調理という特殊性を考慮して調達のあり方は検討すべき。

- ・ 確かに価格の適正化は図られるべきだが、入札価格と比較すればいいという話ではない。協議価格には各学校への配送経費も含まれているはず。また、学校給食には安心と安全が担保されるべきである。

保護者としては、学校給食の厳しい基準に合格した物資が納入されることが一番大事である。例え、協議価格が入札価格より高いとしても、安心と安全が担保されるならばそれで構わないのではないか。何でも入札にすればいいという問題ではないと考える。値段だけにとらわれずにやるべき。入札ありきの議論は慎重に考えるべき。また、現在の配達等の対応を考えると、業者側にもある程度の体力も必要とも思う。

- ・ 仮に価格を比較するとすれば、同様の大量調理を行っている病院等の施設と比較しないと意味がないのではないか。
- ・ きちんと物資調達の流れを説明すれば、納入組合からの物資調達についても保護者の理解は得られるのではないか。改善出来る点は改善すればよいのでは。
- ・ 入札にすると必然的にもっとも安価な物資が納入されてくることになるだろう

うが、地産地消の推進は難しいのではないか。地産地消の面からは納入組合は貢献しているのでは。

- ・ もう少しわかりやすい資料で説明をして欲しい。専門的なのでよく分からない。納入組合のメリット・デメリットをわかりやすくまとめてもらって、「この点についてはこのようにしようと思うのだが・・・」という形で検討委員会に上げてもらえればもう少し議論も出来るのではないか。

ウ 以上の意見を踏まえて、事務局から「まずは検討課題をオープンに議論することが一番と考え、今回この議題として提出したものである。再度、分かりやすく資料を作成するので、次回の会議にて引き続き審議をお願いしたい」という説明があり、委員一同了承した。

3 その他

(1) PEN樹脂食器の安全性検証について

事務局より以前行った溶出検査に加え、環境ホルモンの溶出検査等、今後の溶出検査の予定について説明があり、協議の結果、21年度中に未使用食器と9ヶ月使用した食器の溶出検査を行うこととなった。

(2) 次回の会議日程

委員長から、2月1日の開催とすることの提案がなされ、委員一同了承した。なお、詳細については、別途通知することとされた。